



景観に配慮した一般建築物

## 海岸美術館

所在地：安房郡千倉町川戸柏尾550

施主：(株)モスフードサービス

設計：石井和紘建築研究所

施工：大成建設(株)千葉支店



3

浅井慎平氏の写真作品を展示する海岸美術館が、房総半島の南端にある千倉町に開館した。写真で見たロケーションは、小さな海の入江に面しているように思えた。ところが案内の車は山路を曲がる。やがて小さな沼のほとりの対岸の山合いに、それらしき姿が見えてくる。写真で姿を写していた水面は海ではなかった。にもかかわらず海岸美術館と呼ぶには、長らく仕事場にもしてこの土地の海と山を愛でてきた浅井氏の思い入れがあるに違いない。

山合いの屋根が草葺きならば、典型的な日本の里山風景である。だがモダンデザインの直線的なコンクリート壁面は、おだやかな山の曲線に対して極めて対比的である。しかもそれは外界を閉ざす門構えにも見えるのだが、それがかえって山合いの奥の秘密を匂わせて魅力がある。

建築設計はポストモダン派で知られる石井和紘氏である。浅井氏の思いと地形を心得た石井氏とのかたり合いが聞こえてくるほどに、対比的な建築造形は見事なプロポジションでじっくりと山懐に抱かれている。サラリと新鮮な里山風景が創りあげられたといえよう。

海は建物の内庭にあった。浅井氏自作の青海波紋様の



タイルが渚を奏でている。屋内の空間は一転して開放的、自然光の展示室は山の芽吹き息づかいが伝わってくる。

優れた建築は優れた景観を創出する。房総の奥の地に小さいがキラリと光る新たな景観づくりの芽が生まれたことを嬉しく思う。この美術館に触発されて、質の高い文化施設がこの山路に点在し、それを訪ね歩く楽しみを期待したい。

(野口瑠璃 委員)